

ひとの心を動かすひとになる。

2020年4月採用教員採用試験＜試験＞

20名

岡山県 4名 香川県 1名
愛媛県 2名 高知県 2名
島根県 1名 兵庫県 4名
神戸市 1名 北九州市 2名
佐賀県 1名 長崎県 1名
鹿児島県 1名

10名

うち
現役

名

※2019年11月13日時点

音楽教諭 とは

中学校や高等学校で音楽教科の授業のほか、吹奏楽部や音楽系部活動の顧問を任せられることも多いです。授業や部活動の指導に欠かせないのは、音楽技術と複数の楽器の指導力です。公立中学校や高等学校でも各校1~2名の配置のため、毎年の採用試験の採用枠は多くありません。

<2020年4月採用岡山県：中学校（国語15名、音楽3名）・高等学校（国語7名、音楽1名）。今回の試験倍率は中学校が10倍、高等学校が14倍でした>
作陽では、教員として必要な指導力・演奏技術・学級運営力等を身につける授業に加え、実践力を身につける課外活動、教員採用試験対策講座も充実しています。

合格者の声



音楽学部 教育文化コース

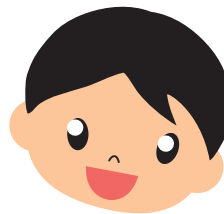
音楽教育専修（声楽）4年

高橋 泰さん

（島根県立大社高等学校出身）

「先生になる」ことは、小学校の頃からの夢でした。音楽の先生になるために、くらしき作陽大学に入学してから教職の授業はもちろん、同じ夢を持つ仲間と立ち上げた音楽教育研究会での自主的な活動や、音楽教育実践「リコーラス」での合唱や教育楽器を使った合奏など、さまざまなことに取り組みました。活動を通して学んだことが、今回の結果につながったのだと思っています。親身になってご指導くださった先生方や共に学んだ仲間にとっても感謝しています。これからは地元で子どもたちとともに、心が動く音楽活動に一生懸命に取り組み、「生徒とともに目を輝かせながら学んでいく先生」になりたいと思っています。

合格者の声



音楽学部 演奏芸術コース

声楽専修 4年

阿部 佑哉さん

（岡山県立岡山城東高等学校出身）

「音楽をもっと勉強したい」と本学に入学し、音楽の感性を磨くためにさまざまな勉強や演奏活動と教職の勉強に力を入れました。今回採用試験に合格できたのは、その両立を頑張ったからこそだと思っています。大学という場所は、待っているだけでは身につくものではありません。自分から学びたいと行動に出すと、先生方は全力でサポートしてくださり、力がつきました。教員として、奮闘していきたいです。

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学

お問い合わせ先
入試広報室

0120-911-394

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515 E-mail nyushi.sakuyo@ksu.ac.jp

くらしき作陽大学

検索

<http://www.ksu.ac.jp/>